

平成 29 年 12 月 5 日

## 出張報告書

スポーツファーマシスト推進員：川村 仁

下記の研修会に出張してきましたので報告します。

1. 研修会等名：平成 29 年度都道府県薬剤師会スポーツファーマシスト担当者合同研修会
2. 日 時：平成 29 年 11 月 30 日（木）12：00～17：00
3. 場 所：日本薬剤師会 会議室
4. 内 容：別紙参照
5. 研修・講演概要等
  - 1) アンチ・ドーピングに関する最新情報
  - 2) 2018 年 禁止表国際基準～2017 年からの変更点～
  - 3) スポーツファーマシスト認定制度平成 29 年度
  - 4) 岩手県薬剤師会のアンチ・ドーピング活動について
  - 5) ワールド・カフェ「都道府県薬剤師会 SP 担当者の役割について」

### 6. 感想、所見等

村松常務理事の司会で開催された。

WADA 禁止表国際基準改訂時期において、例年の行事となっているが、JADA の説明を主体としており新禁止表が発効される前にその概要説明のために開催された。

JADA の浅川専務理事から、最近のサプリメント事情として、岩手国体での初めての違反事例および豪州のサプリメント調査結果が紹介された。特に、豪州の調査結果では、禁止物質表示がない 63 件の商品から 10 件の禁止物質が検出されたことが紹介された。この実態を踏まえてアスリートの研修をお願いしたいとのことであった。やっぱりサプリメントは要注意であろう。

次に、2018 年版の禁止表)の変更点が説明されたが基本的には大きな変更はなく、用語の整理統合が主なものであったが、

S1 タンパク同化薬：1-アンドロステロン（例示追加）

アンドロスタノロン（例示名変更）

S2 ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質

低酸素誘導因子活性化薬：ロキサデュスタット（FG-4592）（例示追加）

ペプチドホルモンおよびホルモン調節物質；ゴセレリン、デスロレリン、ナファレリン、トリプトレリン（例示追加）

成長因子および成長因子調節物質：チモシン-β4 およびその誘導因子：TB-500（例示追加）

### S3 ベータ2作用薬

ツロブテロール（例示追加）

サルブタモール（24時間で最大1600μg、いかなる用量から開始しても12時間で800μgを超えないこと）

### S5 利尿薬および隠蔽薬：グリセロール（削除）

### S6 興奮薬：b 特定物質である興奮薬：1,3-ジメチルブチルアミン（例示追加）

特定競技において禁止される物質

P1 アルコール：対象競技からすべて削除された。

監視プログラム：2-エチルスルファニル-1H-ベンズイミダゾール（ベミチル）（追加：但し国内販売なし）

次に、スポーツファーマシスト認定制度の概要紹介があった。

次に、岩手県薬剤師会の本田先生から平成28年開催の岩手国体の活動報告があった。本件については、青森県薬からも視察させていただいたこともあり、今回の報告と合わせて今後の活動に活用していきたく。

最後に、今回初めての企画であった、ワールド・カフェ「都道府県薬剤師会SP担当者の役割について」に参加した。

これは、参加者を15班に分け3つのテーマをSGDするものであった。テーマは下記の通り。

第1ラウンド：あなたの都道府県では、スポーツファーマシスト向けにどんな活動をしていますか？

第2ラウンド；スポーツファーマシストの活動に問題を感じていますか？どんな問題ですか？

第3ラウンド：どうしたらスポーツファーマシストの活動が活性すると思いますか？

以上のテーマを、議論するものであったが、ワールド・カフェ形式とは1テーマごとに、テーブルマスター（司会）だけを残し、参加者を入れ替えて実施するものらしく、議論は新鮮なものであった。くしくも、テーブルマスターにさせられてしまい、別のテーブルでの議論に参加することはできなかった。

議論が終了後は、司会がマイクを持ちながら、テーブルマスターに報告してもらったが、15テーブルもあり時間がかりすぎた。

主催者も想定していらしく、テーブルマスターおよび参加者全員から、後日報告書を提出するようにとの宿題をもたされてしまった。

よって、報告書が集約されたら日薬からあらためて報告者が完成し、後日県薬へ送られてくるものと思うので、届いたら紹介したい。

また、本研修の成果は今後開催予定の、アンチ・ドーピング特別委員会開催の折紹介し情報共有を行う予定です。

平成 29 年度 都道府県薬剤師会スポーツファーマシスト  
担当者研修会 次第

日 時：平成 29 年 11 月 30 日（木）12：00～17：00

場 所：日本薬剤師会 会議室（四谷安田ビル 8 階）

参加者：都道府県薬剤師会 SP 活動推進担当者、ドーピング防止ホットライン担当者（最大  
2 名）及び日本薬剤師会アンチ・ドーピング委員会 委員・担当役員

（敬称略）

司 会：日本薬剤師会 常務理事 村松 章伊

1. 開会挨拶（12：00～12：05）（5 分） 日本薬剤師会 会長 山本 信夫
2. アンチ・ドーピングに関する最新情報（12：05～12：25）（20 分）  
日本アンチ・ドーピング機構 専務理事 浅川 伸
3. 2018 年 禁止表国際基準～2017 年からの変更点～（12：25～13：10）（45 分）  
日本アンチ・ドーピング機構 教育・国際部 教育・情報グループ  
アシスタントマネージャー 鈴木 智弓
4. スポーツファーマシスト認定制度 平成 29 年度（13：10～13：25）（15 分）  
日本アンチ・ドーピング機構 教育・国際部 教育・情報グループ  
アシスタントマネージャー 鈴木 智弓
5. 岩手県薬剤師会のアンチ・ドーピング活動について  
（13：25～13：45）（20 分） 岩手県薬剤師会 常務理事 本田 昭二
6. 質疑応答（13：45～13：55）（10 分）  
----- 休 憩（10 分） -----
7. ワールド・カフェ「都道府県薬剤師会 SP 担当者の役割について」  
作業説明（14：05～14：15）（10 分）日本薬剤師会 常務理事 亀井 美和子  
グループワーク（14：15～15：35）（80 分）※移動時間含む  
----- 休 憩（10 分） -----
8. ワールド・カフェ発表・全体討論（15：45～16：45）（60 分）
9. 総括（16：45～16：55）（10 分） 日本薬剤師会 副会長 石井 甲一
10. 閉会の挨拶（16：55～17：00）（5 分） 日本薬剤師会 理事 明石 文吾